



まちライブラリーに関する情報はこちらから

<https://machi-library.org/>

まちライブラリー通信 vol. 29 / ブックフェスタ特集号
発行：一般社団法人まちライブラリー
住所：〒540-0037 大阪府大阪市中央区内野町2-1-2 アイエスビル3階



まちライブラリー通信

VOL. 29

ブックフェスタ特集号

まちライブラリー総数

1060

2023年8月20日現在

New! まちライブラリーの紹介

NO. 1019 (神奈川県 川崎市)

マチノパズル

多摩川と緑に囲まれた自然豊かな街、稲田堤で生まれたまちライブラリー。多世代交流の場となるように多くの人が集う公園を中心に不定期で移動図書室を開いています。読み聞かせや工作教室なども企画していきます。

- Instagram: machinopuzzle
- オーナー: マチノパズル

NO. 1020 (大阪府 大阪市淀川区)

さこそでライブラリー

駅の計画や設計を担うジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社の社内で始めたライブラリーです。街作りやコミュニティ作りに関する本を社員で持ち寄っています。現在は社員のみでの公開ですが、本の「出張」も検討中!

- Facebook: さこそで
- オーナー: さこそで

NO. 1021 (北海道 長沼町)

夕日案内所

鍼灸治療院の待合室で、体や心が整うヒント、自然に関する本を中心に揃えています。窓からは山々や長沼のまちを望むことができ、夕焼けの時間帯がおすすめです。施術外の時間でしたら、どなたでもご利用できます。

- Instagram: oro.tomo
- オーナー: 丘の上鍼灸院 oro Libra

NO. 1023 (北海道 長沼町)

まちライブラリー@警積の家

夕陽の美しい馬追丘陵にあり、器のギャラリーの一角に本を置いています。焼き物や料理、華道、書道などの本に加え、志村ふくみさんや辰巳芳子さんの著書もあります。蔵書をリプライズに更新中です。

- Web: <https://kayoh1.work/library>
- オーナー: 池上ふくみ

NO. 1024 (神奈川県 逗子市)

みんなの絵本

これまで収集した絵本の中から、「そのまま」「多様性」「想像性」といったキーワードで絵本を選びました。少しでも多くの方に絵本を手に取り、そのメッセージに触れただけだと思います。

- オーナー: 逗子市社会福祉協議会 福祉教育チーム 絵本・アートプロジェクト

NO. 1025 (山口県 下関市)

まちライブラリー@月いち下関

小さな医院として使われてきた築76年の古い建物で始めました。お散歩ついでに気軽に立ち寄り、ホッとリフレッシュできるような場所で、本を通じて多世代交流の輪が広がることを願っています。

- Instagram: tsuki_1ichi
- オーナー: 小林浩子

NO. 1026 (兵庫県 神戸市西区)

まちライブラリー@学園みどりこども園

神戸市営地下鉄「学園都市駅」前のマンション1階にある小規模保育園内の小さなカフェで、子どもたちの声を聞きながらホッとした時間を過ごしませんか。世代を超えたつながりができますように。

- Web: <https://midori-fukushikai.or.jp/gakuen/>
- オーナー: 社会福祉法人翠福社会

NO. 1027 (大阪府 箕面市)

RENS

海外翻訳本の小説を主に陳列し、読書会も随時開催しています。フンドリンク付きの時間制です。茶を置くスタンドなど、読書をもっと楽しむためのオリジナルグッズも販売しています。

- Instagram: rens.cycle
- オーナー: RENS

NO. 1028 (大阪府)

まちライブラリー@ずかんかん

公園などで不定期に、図鑑を中心とした本の貸し出しやワークショップを行います。多様な人の学び合いの場を創出するために工夫しながら、たくさんの人とのつながりで成長できるライブラリーにしたいと思います。

- Web: <https://zukankan.stores.jp/>
- オーナー: 八本美菜

NO. 1030 (兵庫県 西宮市)

まちライブラリー@our.classics

時代を生き残り、多くの場面で拠りどころとなっている良書を古典と呼びますが、今後生き残るであろう良書も古典と捉えられると思います。巣箱型の本棚に並べる良書を通じて、ふれあいの場を提供したいと思います。

- オーナー: 廣瀬雄二郎

NO. 1031 (福島県 会津若松市)

ひのき図書館

ひのき薬局の待合室に設置したまちライブラリーです。2階はひのきのフローリングなので、小さいお子様も安心して靴下や素足でお過ごしいただけます。薬局に在籍する薬剤師や管理栄養士にもお気軽にお声がけください。

- Facebook: ひのき薬局(会津若松市)
- オーナー: ひのき薬局

NO. 1033 (千葉県 鴨川市)

ナガサハウス・ライブラリー

貸別荘型の宿泊施設の中にあるまちライブラリーです。南房総の里山の風景に包まれながら、本を片手にのんびり過ごしませんか。鳥のさえずりと稲田を揺らす風の音のBGMをお楽しみください。

- Facebook: ナガサハウス・ライブラリー
- オーナー: ナガサハウスクラブ

NO. 1034 (大阪府 茨木市)

まちライブラリー@ATELIER CUORE

マンションの中のマイクロライブラリーです。私は宗教学研究家なので、さまざまな宗教の本があります。他にも哲学、思想、芸術など色々な本があります。興味があれば覗いてみてください。

- Web: https://note.com/hide_yuki1970/
- オーナー: 西川英行

NO. 1035 (神奈川県 鎌倉市)

西鎌みんなの家 ライブラリー

旧西鎌倉子ども会館を地域住民有志の手で、あらゆる世代が集える場所にしました。充実した絵本や児童書の蔵書に加えて、子育て本や大人向きの本も増え始めています。

- Web: <https://24minna.org/>
- オーナー: 西鎌みんなの家の会

NO. 1036 (北海道 長沼町)

Maori Art Studio・books

主に石の彫刻や服飾、雑貨などの創作活動をしています。蔵書はアート系やものづくりに関するものが多いです。

- オーナー: 伊藤三千代

NO. 1040 (京都府 京都市左京区)

subaco.lgc

小さな棚にそつと本を並べた巣箱図書館です。毎週少しづつ本を入れ替える予定です。地域の高齢者の方や子育て中のお母さん方にとって、「今日はどんな本があるかな?」と宝探しのようにワクワクする場所になればいいなと思います。

- Instagram: subaco.lgc
- オーナー: 竹浦朋子

NO. 1041 (大阪府 柏原市)

京都大学児童文学研究会かみふうせん @大阪柏原大正通り

京都大学児童文学研究会かみふうせんのメンバー(08と09含む)が本を持ち寄っています。小説・児童書を中心に様々なジャンルの本を置いています。ゆっくりと本を楽しむひとときをお過ごしください。

- オーナー: 京都大学児童文学研究会かみふうせん

NO. 1043 (山梨県 北杜市)

図書館ギャラリー ちいさなりんご

羊毛人形のギャラリーと3000冊の蔵書を揃えています。本のジャンルはネイティブアメリカン、野外活動、美術、音楽療法、絵本、児童文学など洋書、古本を含めて一般的な図書館では見かけない珍しい本もあります。

- Web: <https://tisanaringo.jimdofree.com/>
- オーナー: 佐久間登志



日本中が本でつながる! まちライブラリーブックフェスタ・ジャパン2023開催

9月1日から10月29日までの約2カ月間、まちライブラリーブックフェスタ・ジャパン2023を全国各地で開催します。この取り組みは、まちライブラリーだけではなく、公共図書館や書店など本にまつわる活動をしている個人や団体が一緒になって、本を介して人と人、人とまちが出会いきっかけを生み出してきました。2015年春にスタートして以来、今年で9回目を迎える「本のお祭り」をより楽しんでいただくために、これまでの歩みをご紹介します。(文:まちライブラリー事務局 小野千佐子)

まちライブラリーが続々誕生 イベント名も変化

始まりは2015年春に「OSAKA BOOK FESTA+ 2015」と題して1か月間、139カ所のブックスポット(本のある場所)で開催したことです。当時は大阪にまちライブラリーが多く誕生し、周辺の京都や神戸エリアにも広がり始めていたためイベント名に「+(プラス)」を付けました。翌年には和歌山や奈良、神戸以外の兵庫県内にもまちライブラリーが広がり「BOOK FESTA 2016 in KANSAI」と改めました。各オーナーさんは期間中にイベントを開いたり、開館日を増やしたりと盛り上げてくださり、それに応じて参加者もまちライブラリーへ足を運び、イベントに積極的に関わるようになりました。

新型コロナで状況一転 オンラインで全国交流

関西のまちライブラリーでは「春はブックフェスタ!」が定着しつつあり、2020年春も開催に向けて30ページに及ぶパンフレットを準備していたものの、新型コロナウイルスの影響により開催日未定で延期の判断をしました。一方で、コロナ禍は多くの人とオンラインで交流する機会を与えてくれました。そこでオンラインを使って2020年9月に「BOOK FESTA JAPAN 2020」を実施したところ、北海道や東京、静岡、宮崎など全国各地で165件のイベントを開催できたのです。さらに昨年は期間を2カ月間に延長し、ブックスポット同士が協力し合うなど横のつながりも増え始めました。

マイクロ・ライブラリーサミット 今年も3会場に拡大

大阪では2013年から、小さな図書館活動をしている個人や団体が一堂に集まって活動報告や悩みを相談し合う会として「マイクロ・ライブラリーサミット」を開催しています。2017年からはブックフェスタと合わせて会を開いており、今年も6月に誕生したまちライブラリー@MUFG PARK(東京都西東京市)をメイン会場に、北海道と大阪をサブ会場として、各地で集い、大きくつながるマイクロ・ライブラリーサミットをめざしています。

毎年異なる「タコ」のデザインにも注目!

みなさんご存じの通り?まちライブラリーのキャラクターは「タコ」です。これは早稲田大学教授の友成真一さんの著書『問題は「タコつぼ」ではなく「タコ」だった!?』(ディスカヴァー・トゥエンティワン、2008年)の中で、組織や社会の枠組みを「タコつぼ」、その中にいる人間を「素ダコ」と呼び、個人が生き生きと暮らせるミクロの視点が大切ということに由来しています。ブックフェスタを全国規模で開催するようになって以降、デザイナーさんに毎年新しいデザインをお願いしていて、今年のタコはこれまで以上に躍動感があります。ぜひ皆さんも、のびのびとブックフェスタを満喫してください。



探訪ブックスポットを巡ろう



訪れた際の感想も募集!

ブックフェスタ・ジャパン2023の期間中に「私のライブラリーを見に来てほしい!」と登録された探訪ブックスポット一覧です(※8月20日までに登録済みの場所を掲載)。訪問した際には、ライブラリーの様子や運営者さんと交わした言葉、そのまちの様子などを「みんなのブックスポット探訪記」に投稿してご紹介ください。みんなでブックスポットを応援しよう!

都道府県名	ブックスポット名	種類	都道府県名	ブックスポット名	種類
【北海道・東北】					
北海道	まちライブラリー@ちとせ	ま	大阪府	ライブラリー BAR 昭和 Factory	ま
秋田県	まちライブラリー@はちらぼ	ま		古本たまや	ま
【関東・甲信越】					
茨城県	だいがまちライブラリー	ま		Crossing Book	ま
	はちとご文庫	ま		まちライブラリー@シュール・ムジュール デサキ	ま
千葉県	軒先珈琲 x まちライブラリー	ま		てんてんとム〜シムシ	ま
	蔵の図書館	ま		空堀シネマライブラリー EndMark	ま
東京都	まちライブラリー@MUGF PARK	ま		UPっふ まちライブラリー	ま
	まちライブラリー@南町田グランベリーパーク	ま		まちライブラリー北勝堂	ま
	まちライブラリー@本のふるさと奥多摩	ま		もりのざっかやさん 本と窯	書
	まちライブラリー@ウエリスオーブ東村山富士見町	ま		まちライブラリー@ファレ*ティブア	ま
	まちライブラリー@ウエリスオーブ町田中町	ま		大阪市立中央図書館	公
	まちライブラリー@ウエリスオーブ成城学園前	ま		大阪市立北図書館	公
	まちライブラリー@ウエリスオーブ	ま		大阪市立都島図書館	公
	武蔵野関町 つなぐカフェオーブ	ま		大阪市立西成図書館	公
	眠りのライブラリー@カフェ Rinne	私		大阪市立福島図書館	公
	Book & Garden カフェ里葉	ま		大阪市立此花図書館	公
	まちの図書室まちの保健室 おさんぼ	ま		大阪市立平野図書館	公
	まちライブラリー@くにたちダイヤ街	ま		大阪市立島之内図書館	公
神奈川県	本喫茶わかば	ま		大阪市立東住吉図書館	公
	まちライブラリー @横浜キノコ文庫	ま		大阪市立港図書館	公
	Qのまちライブラリー	ま		大阪市立住吉図書館	公
山梨県	図書館ギャラリーちいさなりんご	ま		大阪市立大正図書館	公
長野県	まちライブラリー@My Book Station 茅野駅	ま		大阪市立住之江図書館	公
				大阪市立天王寺図書館	公
				大阪市立浪速図書館	公
				大阪市立西淀川図書館	公
				大阪市立淀川図書館	公
				大阪市立東淀川図書館	公
				大阪市立東成図書館	公
				大阪市立生野図書館	公
				大阪市立旭図書館	公
				大阪市立城東図書館	公
				大阪市立鶴見図書館	公
				大阪市立阿倍野図書館	公
				小さなお庭と猫の図書館	ま
				コトノハ文庫2号店	書
				まちライブラリー@種ノ箱	ま
				スペースアルファ三宮	ま
				風文庫	書
				とががわ本棚@まちライブラリー	ま
【中国・四国】					
			岡山県	まちライブラリー奉還町	ま
				まちライブラリー@ラガルトプラス倉敷	ま
				まちライブラリー@早島町観光センター	ま
			徳島県	鮎喰川コモン	他
【東海】					
岐阜県	まちライブラリー@おぼろづきよ	ま			
	みんなの学び舎ことのは	ま			
静岡県	あひる図書館	ま			
	虹ブックス	ま			
	おおきい ちいさい 子どもの本 童堂(すみれどう)	書			
愛知県	心音(しんおん) Books	ま			
三重県	AprilBooks	書			
【近畿】					
京都府	もみじ文庫	私	兵庫県		
	subaco.lgc	ま			
	京田辺まちライブラリー	ま	和歌山県		
大阪府	ISまちライブラリー	ま			
	まちライブラリー@もりのみやキューズモール	ま			
	まちライブラリー@OIC	ま			
	(立命館大学大阪いばらきキャンパス)	ま			
	まちライブラリー@東大阪市文化創造館	ま			
	みんなの図書室ほんむすび	ま			
	みんなの図書館さいくる	ま			
	RENS	ま			

【凡例】種類 ま=まちライブラリー、私=私設図書館・個人文庫、書=書店(新刊・古書)、公=公立図書館・専門図書館、他=その他公共施設



ブックフェスタ・ジャパン2023公式サイト(全国マップ)
<https://bookfesta.machi-library.org/>
 登録のある探訪ブックスポット全ての一覧と、各ブックスポットの開館時間など詳細は、ブックフェスタ・ジャパン2023公式サイトの全国マップから確認できます。



みんなのブックスポット探訪記
 投稿フォーム
<https://forms.gle/dZTF41Hpc99EJWb29>

つながりの科学から考える「本で人とつながる」必要性

今年も「まちライブラリーブックフェスタ」の季節がきました。普段行けない場所、会えない人と「出会い」や「つながり」を感じていただけるのではないのでしょうか?

しかし「出会い」とは何か、「つながり」とは何かといった本質的な疑問を持たれている人もおられると思います。過日もある方から「なぜ横のつながりが必要なのでしょうか?」と問われたことがあります。今回は、この問題に触れてみたいと思います。

2013年に「まちライブラリー@大阪府立大学」が誕生し、その当時の理事長・学長だった奥野武俊先生が「つながりの科学」について、ヒントとなる短論文やメモを送っていただきました。先生からは「まちライブラリーは、画期的な活動原理をもっている。この活動を単なるムーブメントにするのではなく、学術的にも形式知にし、後世に残すことが必要で、あなたが大学院でそれを論文にし、次にバトンを渡せるようにしなさい」と何度となく言われたのです。

先生が提起された「つながりの科学」とは、人のつながりや社会構造、情報の伝達に関するものまで多岐に渡っていました。そのなかでも「6次の隔たり」や「3次の伝搬」といったことに興味を持ち、大学院でも研究対象にしようと考えていましたが、私の力量不足でそこまで深く立ち入ることができませんでした。

「6次の隔たり」とは、世界中の人が概ね6人程度を介せば誰でもつながるという理論です。一見、信じられないようなことですが、この問題を最初に問題提起したのは、ハーバード大学の社会学者、スタンリー・ミルグラムの手紙による実験です。無作為に選んだ中西部に住む米国人300名程度にボストンにいる特定の人に手紙が届くようお願いしたのです。ただし、送り先はファーストネームで呼べる人(親しい人)に限られ、手紙を受け取った人も同じルールで手紙を送り、最後に特定した人に何人目に届くかを実験しました。結果は、媒介者の数は2から10人で、中央値は5となりました。

もちろん懐疑的な見方もありましたがその実験から20年ほど経った1990年代に物理学の博士論文を書いていたダンカン・ワッツという人が、これを数学的に解いたのです。70億以上いる世界中の人は、それぞれ家族とか学校時代の友人、地域の集まり、職場の仲間や行きつけの社交クラブや趣味の仲間などさまざまな小規模なコミュニティに属しているが、それぞれ無作為になつなかりもしている。たまたま飲み屋や飛行機で隣合わせになって話が弾み、つながったりした人など「弱いつながり」もあることに注目し、それを数式に入れると極めて短いつながりで地球の裏側の人でもつながることを証明したのです。この視点に立て

ば、「小さな世界」(It's a small world)は、大きな世界につながっていくといえます。このように人のつながりは、思いがけないつながりにつながるという体感は、科学的にも論証されるようになったのです。

他には、人から人への伝搬は3人目までは伝搬しやすいことを論じている人もいます。米国の社会学者、ニコラス・クリスタキスは、一人の人が概ね20人の人を知っていて、その20人に熱心に特定のことを伝えたと、伝えられた人も概ね20人の人とつながっており、さらに次の20人もとなると「20×20×20」となって8000人の人に伝搬するという考え方です。さらに米国のMIT大学院教授のアレックス・ベントランドは、「ソーシャル物理学」という概念で社会構造を研究しました。株式や債券をネットでトレードするサイトにおいて、①特定のポートフォリオ(売買する株式や債券など金融商品の組み合わせ)を公開して売買する人(このサイトでポートフォリオをフォローする人を集めるとキックバックが入る仕組み)と②非公開で売買する人のグループでは、①が②より1.3倍パフォーマンスが良いことを証明します。また、公開グループの段階から特定のメンバーだけがそのポートフォリオを見られるクローズドネットワークに切り替えるとパフォーマンスが落ちて、非公開の人と同じになってくるということを指摘しています。つまり、万人にオープンに情報公開すると、結果として利得があるということをマクロ分析で証明したのです。

「つながりの科学」は私が研究するには力不足でしたが、まちライブラリーにとって示唆に富んだヒントをたくさん与えてくれました。その中から生まれたのが「まちライブラリーブックフェスタ」です。普段会えない、会わない人でも垣根を越え、さらなる「出会い」と「刺激」で新たな境地を見つける機会になればとの発想です。皆様とともにこの活動が、どのような地平線を生み出すのかを見てみたいと思います。楽しみですね!

2023年8月
 まちライブラリー提唱者 磯井純亮



『つながり 社会的ネットワークの驚くべき力』
 (2010) 講談社
 ニコラス・A・クリスタキス著、ジェイムズ・H・ファウラー著、鬼澤忍訳

『ソーシャル物理学:「良いアイデアはいかに広がるか」の新しい科学』
 (2015) 草思社
 アレックス・ベントランド著、小林啓倫訳、矢野和男(その他)

第3章「小さな世界問題」
 (1967)スタンリー・ミルグラム著、野沢慎司・大岡栄美訳
 『リーディングス ネットワーク論 家族・コミュニティ・社会関係資本』
 (2006) 勁草書房
 野沢慎司編・監訳